

第7回就活応援セミナーを開催しました

参加者の皆さんからたくさんの感謝をいただきました

12月6日、就活応援セミナーを札幌市内で開催しました。大学生や短大生、高校生など約80名が参加いただきました。

就活応援セミナーは、インターネットの普及により激変・過熱する就活に対し、「就活テクニック」を提供するセミナーではなく、「辞めない会社選び」「働く側からの目線」などをキーワードとして開催し、今回で第7回目となりました。

今回は、開演前に「NGなしの質問コーナー」を設けました。前回の参加者アンケートに「45分では時間が足りなかった」との記載があったことから、今回は60分の時間設定としましたが、それでも参加者の熱心な質問に時間が足りず、開演が10分遅れるほどとなりました。



第一部の、カリスマ講師 渋谷文武氏による「第一志望から確実に内定をとる方法 ～ES・面接編～」は、まさに目からウロコがおちる講演。

「数学に公式があるように競争率の高い企業から内定をとる方法にも公式がある」「脳のメカニズムを知れば内定をとるのは簡単」と、「薔薇」の漢字を例えにしたり、参加者にボールを使ってもらったりの講演内容は90分では時間が足りないほどでした。



つづく第二部は「得する就活 損する就活」としてトークセッションで行われ、帝国データバンク札幌支店の田上情報部長から、志望先の情報を集める方法を具体的にアドバイスいただきました。

また、「大きい・小さいではなく、社員が生き生きと働いている会社を選ぶことが大切。規模は小さくとも世界を相手にしている会社がある。みなさん頑張ってください」と参加者を応援していただきました。

連合北海道の斉藤組織対策局長は、「約70万人の就活者が登録している最大手就職ナビとて掲載企業数は約1万社。我が国の企業433万社の0.2%に過ぎない。また、求人票と実際の労働条件の乖離。昨今は『就活ビジネス』なるビジネスもある」と警告。

高校教科書を例に挙げ、「労働者も使用者も働く上でのワークルール、身を守るための法律を知らないのは教科書に記載がほぼ無いから。でも、これから学び、知れば大丈夫」と述べるとともに、「このセミナー参加者は、悩み苦しみ、あるいは騙されること無く、第一志望に就職していただきたい。就活は明るく」と応援。

さらに「現職の大手企業の人事採用担当者」が覆面、さらに音声を変えて登壇。この内容は詳細を記載できませんが「サークルの副部長…」「ヨサコイ…」「ボランティア…」と、人事採用担当者のチェック点や本音を教えていただきました。

「NG無しの質問コーナー」から時間が押し押しとなったセミナーは、予定の時間を30分超えて終了しました。

セミナーの参加者からのアンケートには、好評と感謝の言葉が記載されたものばかりで主催者としては嬉しい限りです。しかし中に「終了時間をまもって欲しい」との記載があり、この点は次回の反省点となりました。

連合は『働くことを軸とする安心社会』を目指しています。連合はこれからも就職活動をする皆さんを応援していきます。



NGなしの質問コーナーに スーパーアドバイザーを派遣いただいた労組

全北海道庁労働組合／札幌市役所職員組合連合会／北海道電力労働組合
NTT労組ドコモ本部北海道総分会／日本郵政グループ労働組合
北海道教職員組合／雪印メグミルク労働組合／コープさっぽろ労働組合
三越伊勢丹グループ労働組合 札幌丸井三越支部／ツルハユニオン
サッポロドラッグストアユニオン／パナソニックデバイス労働組合
北海道労働金庫労働組合／ラルズ労働組合／札幌トヨペット労働組合
エクセディ労働組合ダイナックス分会
近畿日本ツーリスト労働組合／JTB北海道労働組合
【特別参加】北海道銀行職員組合／STVラジオ労働組合